

学習内容報告書 フォーマット

学校名	山口県立西京高等学校
授業者	藤村 泰夫

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海賊映画や想像図を使って考察させる「海賊の黄金時代」の授業

1-2. 学年

1年 2年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

世界史 A 世界史 B

1-4. 単元の概要

「ヨーロッパ人の進出とアメリカ・アフリカ」の単元で、6時間の主題学習「海賊の時代」を実施・

1 単元計画

- 1 時限 映画「カット・スロートアイランド」（レニー・ハーリン監督）の視聴による17世紀後半のカリブ海の理解
- 2 時限 映画「カットスロート・アイランド」に見るカリブ海のイギリス領ジャマイカの実態
- 3 時限 「海賊と北アメリカ植民地総督の関係」について、北アメリカ植民地が置かれた歴史的背景から考査する。
- 4 時限 北アメリカを根拠地にした海賊たちのインド洋での海賊行為によってイギリス東インド会社のインド支配に与えた影響を考える。
- 5 時限 映画「カリブの海賊王」（BBC制作）の視聴により、1710年代に海賊の黄金時代が生まれた背景を考察する。
- 6 時限 オンラインで福岡大学の森丈生教授の「海賊が生きた時代」の講義を視聴し、海賊が多く出現した歴史的背景を学ぶ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

生徒にとって映画やアニメでおなじみの海賊たちは、17世紀～18世紀前半にカリブ海や大西洋、インド洋で活躍した海賊たちをモデルにしている。彼らが登場した背景には、イギリス・スペイン・フランスなどの植民地争奪戦や植民地支配が関係している。そこで、海賊の活動を通してイギリスが海洋帝国を確立していく過程や海賊を生み出した北米植民地の状況を見ていくことで、グローバルな視点に立って歴史を学ぶ力を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

1	カリブ海、北アメリカのイギリス植民地、インド洋を舞台にした海賊の活動を通して、グローバルな「視点で世界史を考えていく力を身につけることができる。
2	地域ごとに個別に学習してきた歴史をつないで考えていくことができるようになる。
3	海賊を生み出した 17 世紀後半の社会的背景を見ていくことで、歴史を多面的、多角的に考察していく重要性を身につけることができる。

1-7. 単元の展開（全 6 時間）

時数	学習活動	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 時 限	<p>映画「カットスロート・アイランド」を視聴しながら、ワークシートを埋めながら、下記のことを考察させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 映画の舞台は、いつ頃のどこか。 2 海賊がねらう財宝はどこから手に入れたものか。 3 イギリス領ジャマイカの生活は、どこの模倣か。 4 イギリス領ジャマイカの持つ意味は何か（砂糖生産 スペイン領攻略の前線基地） 	<p>次の点に着目しながら、映画を視聴するように促す。</p> <p>17 世紀後半のジャマイカの首都ポートロイヤルの情景を通して、イギリスの植民地支配の様子（砂糖生産・奴隷労働）や植民地人がいかに、本国を意識した生活を送っているかもわかる。</p> <p>映画「カットスロート・アイランド」 (レニー・ハーリン監督)</p>
2 時 限	<p>2 時限 映画「カットスロート・アイランド」に見る 17 世紀後半のイギリスの植民地支配</p> <p>1 時限目に配布したプリントの答えをパワーポイントの画像や地図を見ながら考えていくことで、カリブ海におけるイギリス植民地が持つ意味、について理解させる。</p>	<p>生徒に下記のこと書いているプリントを渡して考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン攻略の基地としてのジャマイカ ・本国を意識した植民地の生活 ・様々な民族や宗教が集うジャマイカ ・プランテーションにおける奴隷労働と砂糖生産
3 時 限	<p>「海賊をかくまう北米のイギリス植民地」</p> <p>ハワード＝パイルが描いた「談笑する海賊テュー船長と植民地総督」の絵やテュー船長の生涯を使って北米のイギリス植民地が、海賊を生み出した背景を考察させる。</p>	<p>植民地総督にとって、海賊テューが、どのような存在であり、彼と関係を持つ理由を考えさせる。北米のイギリス植民地が、本国から航海条例などの貿易統制を受けていたことを想起させる。</p>
4 時 限	<p>インド洋での海賊行為がイギリスのインド進出に与えた影響を考察させる。</p> <p>インド洋での海賊行為が、ムガル帝国のアウラングゼーブ帝の逆鱗に触れたことや、イギリスのインド進出に与えた点を理解させる。</p>	<p>インド洋が、西欧のアジアとの重要な交易路にあっていたことや、東インド会社とインドとの関係についても考察させる。</p>

5	<p>映画「カリブの海賊王」を視聴して、次の点に着目しながら、18世紀の初頭に海賊の黄金時代が生まれた背景を考察する、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海賊「黒ひげ」が襲撃した船の積み荷 ・海賊「黒ひげ」のセリフから彼らが登場した背景を考察する。 ・海賊に対する植民地総督の違いとその背景を考察する。 <p>。</p>	<p>18世紀の10年代にカリブ海や北米植民地を中心として海賊集団が登場した背景には、スペイン継承戦争（1701～13）の後に、失業した海軍や私掠船の水夫の失業問題があった。北米植民地においても、タバコなどを産する植民地と物品を産出できない貧しい植民地の間に温度差があった。大西洋では奴隷貿易が展開されていた。</p>
6 時 限	<p>福岡大学の森丈生教授の「海賊が存在する「世界」を考える」の講義をオンラインで視聴する。</p>	<p>森教授の講義は、17世紀末から18世紀初頭の北アメリカ植民地の実態を当時の本国政府などへの報告書を使って、具体的に提示する。そのことから当時の植民地がイギリス本国に対して従っていない実態を明らかにする。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

1 時間目に視聴した映画「カットスロート・アイランド」のいくつかの場面を考えるワークシートの解答を考察しながら、カリブ海におけるイギリス領ジャマイカの持つ意味を考察する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p><導入></p> <p>アニメ「ワンピース」に登場する海賊たちのモデルとなった骨材の海賊たちについて学習する。</p> <p><展開></p> <p>1 映画「カットスロート・アイランド」で舞台となった場所は、どこか、パワーポイントを見ながら考えさせる。</p> <p>2 映画の背景となった時代は、どういう時代か当時の人たちの髪形などから考えさせる。</p> <p>3 主人公の海賊たちが脱出をはかったジャマイカのポートロイヤルの情景を想起させながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャマイカの人々は何教徒が多いか ・ジャマイカの総督や農場主などは、どこかの生活を模倣した生活を送っていたか ・ジャマイカでは、農場で奴隷が何をつくっていたか。 ・ジャマイカには、なぜ、海軍の軍艦が配備されているか <p>4 主人公の祖父は、どこから財宝を奪ったか</p> <p><まとめ></p> <p>ジャマイカの総督にとって、海賊はどのような存在か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント「海賊の世界史」で、アニメに登場した海賊とそのモデルになった実在の海賊について提示し、生徒に関心を喚起する。 （以後、パワーポイントは「海賊の世界史」を指す） ・パワーポイントで、カリブ海の情景や位置とジャマイカの史跡の写真を提示する。 ・パワーポイントで、冒頭の総督邸の舞踏会の場면을提示し、登場人物のウィッグや服装に注目させて、考えさせる。 <p>総督たちが追いかけて行ってぶつかった宗教集団は、キリスト教の内、カトリックであることに気づかせ、その地は、もともとスペイン領であったことに気づかせる。ジャマイカの上流階級は、本国の文化を模倣していることに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャマイカでは、農場で奴隷が砂糖を生産していることをおさえる。 ・ジャマイカは、周囲をスペイン領に包囲されていることからスペイン領攻略の前線基地であることに気づかせる。 ・新大陸のスペイン領から本国に向かう船団から奪ったことに気づかせる。

3. 今回の活動の自己評価

今回は、自分の授業だけでなく、福岡大学のアメリカ植民地史の森丈夫先生とオンラインで結ぶことができた点は良かったと思う。森先生から、17世紀後半から18世紀初頭の北アメリカ植民地について、当時の記録を使って、講義していただき、生徒も実感できたと思う。

2020年度の研究でも使用した映画「カットスロート・アイランド」(レニー・ハーリン監督)に加え、今回は、スペイン継承戦争後のカリブ海や北アメリカ植民地を席捲した海獄黒ひげティーチを描いたイギリスBBC制作の「カリブの海賊王」も視聴した。ティーチなど多くの海賊たちが襲撃した商船の積み荷から、大西洋上の交易の実態(タバコ貿易・奴隷貿易)などの実態や北アメリカ植民地の様子もよくわかったものとする。「海賊の中でもルールがあり、様々な人種から構成されている」ことを指摘していることからわかるように、生徒はこれまでの一面的な海賊増を払拭することができたものとする。

4. 今後の課題

今回の研究では、単元6時間の6時間目に福岡大学のアメリカ植民地史の森丈夫先生にオンラインで、「海賊が存在する「世界」を考える」と題して講義をいただいた。その中で、先生は、海賊たちが登場する北アメリカの植民地時代の様相を略奪や暴力がはびこる社会として見ることを提唱した。従来、市民社会と遊離した存在としてとらえられてきた海賊をその時代の文脈の中で考える必要性が説かれた。今日、海賊史の研究は、大西洋史という枠組でとらえられるようになり、注目されるつつある。しかし、海洋教育の中では、依然として取り上げられていないのが現状である。歴史教育の一分野として最近注目されつつあるグローバル・ヒストリー教育の教材として、取り上げることができれば、生徒が関心を持って地域をつないだり、歴史を多面的に考える思考力を養うことが可能になる。今後の実践で明らかにしたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。